

令和元年度岡山県食の安全・食育推進協議会議事録

令和元年 11 月 12 日

発言者	発言内容
議事（1）	岡山県食の安全・食育推進施策の実施状況について
神崎座長	それでは、議事 1 の平成 30 年度の食の安全・食育推進施策の実施結果と本年度の実施予定について、まず、食の安全、その後、食育の順に説明をお願いします。
生活衛生課	食の安全・安心推進施策実施状況について説明（資料 1）
神崎座長	近年、野生鳥獣のジビエに対して一般の方と処理する方でイメージのズレがあるように感じる。ジビエカーなどの衛生指導は行っているのか。
生活衛生課	ジビエカーや処理を行う施設に関して、車の確認や処理施設の立ち入り検査など、衛生指導を行っている。
神崎座長	<p>昨年の協議会で、リスコミの件数が県で把握しているもの以外にもあると、と聞いたと思う。</p> <p>件数についてどのように把握しているか。</p> <p>地域への波及の回数は 15 回となっているが、実際は地域の方が個別に行っているのではないか。</p>
生活衛生課	リスコミの件数については、個別におこなっているリスコミについては特に連絡は入っていない。リスコミをされる場合、是非県の方に情報提供していただけると有り難い。こちらでもできる限りの支援や情報提供をしていきたいと思う。
神崎座長	次に、食育について健康推進課から説明をお願いします。
健康推進課	食育推進施策実施状況について説明（資料 2）
小寺委員	<p>施策 No. 15 の「栄養成分表示の店」の登録事業は、とても重要な事業である。見直しを行ってリニューアルをしてほしい。特定健診保健指導というものがあり、受診率を上げる努力等をしているが、それだけでは生活習慣病対策等は進まない。健康支援をする環境の整備が一番重要であるので、栄養成分表示の店を増やす事に関して、真剣に取り組んでほしい。</p> <p>栄養士会の全面的な支援や食品衛生協会等からも支援していただきたい。</p>
健康推進課	<p>小寺委員には、毎年、「栄養成分表示の店」の登録事業について応援をしてもらっている。</p> <p>平成 13 年に計画を策定し、何度か見直す中で、コンビニと協力してヘルシー弁当を開発したり、温泉に泊まった人にヘルシーおもてなしを開発したり等の取組をしている。</p> <p>食べる事は大事だし、外食も増えているため、総エネルギーや塩分摂取は健康に重要なものであるため、しっかり進めて</p>

	いきたい。
佐々木委員	<p>子どもの欠食や高齢者の食事の栄養不足はとても気になるところである。</p> <p>高齢者の筋力不足の対策で、健康体操を行っており、その際に栄養状態(食事)などについて指導も行うと高齢者の方も真剣に聞いてくれていると思う。健康推進関係の課内で横のつながりも大事だと感じるが何か取り組んでいるか。</p> <p>また、住民にとって身近にいる栄養委員には地域によって格差があると思う。衰退している地域もある。また、近年は、栄養委員の役割も変わってきている。</p> <p>その点について、栄養委員や愛育委員に研修をもっと受けてもらって、地域で活動できる方がもっと動けるようになってほしい。</p>
健康推進課	<p>岡山県には健康作りボランティアとして愛育委員や栄養委員が全市町村にいる。これは他県にはない岡山県の強みである。</p> <p>フレイルの課題については、運動教室や介護予防教室に行っている人は教室に行くために出かけたり、その教室で運動などをしたりして、動くことが出来ている。問題は、そういう場所に出かけることが出来ない人や引きこもっている人である。</p> <p>特に、定年退職した65歳以上の男性の高齢者に多い。その方たちをどうするかが重要であると考えており、愛育委員、栄養委員さんたちで声かけ運動をさせていただいている。</p> <p>例えば、測定器を持ち込んで家庭の味噌汁の塩分を測ることにより、家庭に入り込んでいくことで声かけ(栄養指導や健康状態の確認)を行っている。</p> <p>また、子どもの食育については愛育委員がいろんな方面から活動してくれていて、地域で孤独になる人を減らしている。食育・地域づくりは自殺の抑制にもなっていると思う。</p> <p>この支援は、行政と二人三脚で行っているものであり、横の繋がり切れることなく、また、愛育委員や栄養委員の新たな健康課題の研修等をして、人が入れ替わっても、その都度継続した働きかけをしていきたいと思う。</p>
佐々木委員	<p>地域によっての格差をととても感じる事は知っているのか。</p> <p>是非、地域格差を埋めていってほしい。せつかく良い組織があるので、活かしていくこと、新たに自分たちの役割が大きいと感じられる様にしてもらいたい。期待している。</p>
中島委員	<p>地域によっては当番制で渋々栄養委員をやっている人もいますが、みなさんの健康を考えてやっているうちに楽しくなった</p>

	<p>と言う人もいる。</p> <p>高齢者の引きこもりや孤立について、外に出てもらうため、シニアカフェ等の新しい事業を行っている。</p> <p>県下で横の連携を取りながら、関連する組織(愛育連合会)と協力して進めて行きたいと思っている。地域格差をなくすためにも、研修会を多く開催し、自分も楽しく相手も楽しく事業を進めていきたいと考えている。</p>
駒越委員	<p>何年か前に栄養委員をしたことがある。御津が岡山市と合併してから岡山市で研修を受けることになったが開催地が遠く、受けにくくなった。</p> <p>車が運転できない人、移動手段がない人は受けたくてもいけない状況にあると感じている。</p> <p>企画があっても出て来られないのは移動手段がないことや交通の便が良くない人がいる。少し先でも行きにくい人がいるので、机上の話ではなくて現状を見て対応していただきたい。</p>
神崎座長	<p>「出てくるのが難しい。」という問題はこの協議会でどうにかできる案件ではないが、他でも同じ問題に直面している。</p> <p>IT化社会というがそういう所には活用がされていない。</p> <p>人が移動しないと出来ない会が多いと感じる。見るだけでできる様な工夫が出来れば改善するかもしれない。</p> <p>部や課を超えて取り組んでいてもらいたい。</p> <p>子どもに関して、小学校長会から何かあるか。</p>
岩井委員	<p>食育という言葉が出来て久しくなる。朝食の欠食など食育は外せないテーマになる。</p> <p>施策5の県民が実践できる食育の推進について</p> <p>学校でも食育は教科や給食を通じて、給食を生きた教材として活用している。「子どもを変えたら家庭が変わる」という風に難しいところがある。また、子どもは成長すれば生活も変わってくるが、なかなか家庭が変わらない。社会や地域を巻き込んで進めて行くことが食育を進めて行くことに繋がると考えている。</p> <p>栄養成分表示の事業について、愛育委員や栄養委員の指導を受ける機会でも栄養成分表示についても紹介してもらいたい。</p> <p>全国学校給食研究協議大会に参加し、全国の先進的な実践を聞くことが出来た。衛生管理について参加したが、学校薬剤師の方が多く参加されていて関連機関での連携が垣間見ることが出来た。保健体育課には各学校間での広がりなどの啓発活動もやっていてもらいたい。</p>

神崎座長	テレビで箕面市がアレルギーゼロの給食を作ったという話があったが、「栄養面を考えるとタンパク源が本当に足りるのか。」という問題が出てくる。岡山県もそういう問題に直面していると思うが、アレルギー、食育や健康についての問題はトータルで考えていかないといけないと感じている。
議事（２）	食品衛生法の改正について
生活衛生課 農産課	リコールの報告義務化・HACCP 制度化について説明（資料３） GAP について（資料３）
同前委員	自主回収は、最終販売者が行うことになっていると思うが、カキなどの卸売り業者から購入した製品について、販売した当日の地域や産地で食中毒等が懸念された場合、食中毒を未然に防ぐため回収する場合は、卸売り業者が卸した商品について全て自主回収をする義務が生じるのか。 報告の義務化について卸売り業者が報告を行う事があり得るのか。
生活衛生課	制度化が決定したが、まだ細かい所は厚労省等で決めている最中であるので、具体的な回答はできない。 基本的には、製造者又は責任を持っている販売業者が自主回収を行う。自主回収は、健康被害等のおそれがあると判断した事業者が自治体へ届出を行っているが、「自主」なので「やりたい or やります」と主導するところが届出義務を負うと思うが、細かい取り決め等についてはまだ決まっていない。
神崎座長	かきの事は、岡山県にとっては重要な事なので、細かい取り決めが出来てから、「卸売り業者も対象になります。」という風にはならないようにしてもらいたい。後手に回らないように対応してってもらいたい。 HACCP の時も、制度化の内容を 100%しようとする小さい事業者などには、導入に金銭含め関して負担が大きくなっていると聞く。小さい事業者をどう守っていくかも大事なところであるので考えてってもらいたい。
議事（３）	食品ロス削減に向けた取組
循環型社会推進課	食品ロス削減に向けた取組について説明（資料４）
神崎座長	3010 は良い取組だが、ホテルでの会食や大きな学会ではなかなか難しい。岡山は色々な所から人を呼んで行う事が多いから、バランスが難しい。 海外から見ると持って帰りたいという人もいるが、日本では持って帰れないのが現状。海外は持って帰れるところが多いので、グローバル化が進むとそういう問題も出てくる。また、ホテルやお店からするとそういう問題への対応が必要になっている。

循環型社会推進課	<p>持ち帰りについては、消費者庁・環境省・農林水産省が連名で、「外出時のおいしく食べきりガイド」を発行しており、その中で、「自己責任で持ち帰りください。」と書いている。</p> <p>もちろん、持ち帰りに適さないものや持ち帰った後の管理が大事であること、持ち帰る消費者の方は自己責任で、お店側は、希望される客には食中毒のリスクや取扱いの説明等を行ってもらいたい事になっている。</p>
神崎座長	<p>よくわかっている事ではあるが、SNS で持ち帰りに関する情報(この店は持って帰れた等)が出ると、お店側からするとやめてもらいたいと感じる。規模が大きくなってくるとそういう問題が出てくる。</p>
井上委員	<p>食品ロスについては、家庭ゴミの削減が重要になってくるが、買う時は気にするが捨てる時はあまり気にしていない様な現状があり、それを変えていくには報道機関の役割としては、意識付けとして重要な位置にあると感じている。</p> <p>外出に関して、食べきりの協力店の登録制度などを決めている自治体があったりするが岡山県にはそのような取り決めはあるのか、また、どのように進めて行くのか。</p>
循環型社会推進課	<p>食べきり協力店等の制度は岡山県にはない。事業者にはセミナーなどを通事で食品ロスの削減に向けた、飲食店で出来るハーフサイズの提供や仕入れの工夫などを紹介している。</p> <p>生活衛生営業指導センターでは、食べきり協力店舗という制度を設けているため、センターと連携を取りながら進めていきたいと考えている。</p>
神崎座長	<p>持って帰りたい消費者と食中毒のリスクが気になる事業者間で難しいところがあるが、いろんな施策をしていくことで対応して行ってもらいたい。</p>
岩井委員	<p>大学生が児童を対象に授業を行う取組について。</p> <p>授業を行う学生は教員を目指している分野の生徒なのか、違う分野の生徒なのか。</p> <p>もう一点、こういう実践は他校でも活用できるのか、特定の地域でしか行っていないのか。</p> <p>給食の残食はとても問題になっている。総社市今年 8 月末から給食センターが 1 つになった。栄養基準を満たしながら低学年～高学年までの生徒の給食を栄養士が考えて作る取組を行っている。</p>
循環型社会推進課	<p>昨年度授業を行った学生は、山陽学園短大とノートルダム清心女子大学は栄養学、岡山大学は教員を目指している学生が行った。</p> <p>以降に予定のある学校は、上記学校は同様の専攻、岡山商科</p>

	<p>大学は経営学を専攻している学生が行う。</p> <p>他の地域についての取組も是非広がっていてももらいたいと考えている。来年度以降も引き続き取り組んでいく予定である。小学校の方からも協力をしてもらいたい。</p>
神崎座長	<p>最近、外に出て行う授業を課せられている学生が増えている。大学側からも小学校側からも積極的に取り組む事でwin-winの関係を築いてほしい。</p> <p>岡山県は栄養士を養成している大学が多いので、関連した実習が必要になるし、教員を目指す学生にも食育を学ぶ事が必要となっているため、このような活動は増えていくと思う。小学校側も情報を集めてってもらいたい。</p>
議事（４）	その他
健康推進課	災害時の食について(資料5)
國富委員	<p>パンフレット 7 ページに乳製品の備蓄についての欄があるが、行政は液体ミルクを備蓄していく事を考えてほしい。パンフレットにも液体ミルクを記載してもらわないと、災害時に水の確保が出来なければ粉ミルクだと作ることが出来ない。</p>
佐々木委員	<p>危機管理室で地区防災箇所をモデル地区で3カ所作っており、防災担当は各地域の防災訓練で指導を行っている。危機管理室と繋がることで、訓練時などに今回のパンフレットの紹介や、地区防災計画に盛り込める。食とは直接的な関係のない危機管理室だが、備蓄はその先にあるものなので、内部で横の繋がりを持って、広げてってもらいたい。</p>
神崎座長	<p>備蓄の問題は、重要になっている。企業の災害ストックや一般の人の備蓄を回していく事が大事、説明にもあったが弁当が余って捨てられていく事があるが、一般の人はなかなかわからなかったりする。普段から食べ慣れているものがある事が重要だと感じる。勿論、衛生上の問題もあると思うが、これを機に、皆さんで普段から考えてってもらいたい。</p>
宇治橋委員	<p>備前市の片上地区は海水が溢れて災害がおきやすい地区であり、年に1回の避難訓練以外に年に3回大学の先生に来ていただいて勉強している。地区ではお湯を入れるだけで出来るご飯を実際に作り、勉強会を行う活動を進めている。</p>
神崎座長	<p>参考にしてもらいたい。</p> <p>他に委員の方でコメントがあればお願いします。</p>
小寺委員	<p>ゲノム編集食品についてだが、今年10月から既に出回っているらしいが、国の動きが早くて、国民が知らないうちに決まっていた。これに関する情報を発信してもらいたい。リスコミのテーマとしても重要であると思うので考えていていただきたい。</p>

生活衛生課	<p>ゲノム編集食品については、今年10月1日から流通が始まっている。届出をすれば流通できるが、届出前に厚労省に相談する必要がある。場合によっては審査があり、審議会等に意見を聞いたりする必要が出てくる。程度によってはすぐ届出できるものもある。</p> <p>現在のところ、流通しているものがある情報は入っていない。消費者の方からすると、とても関心の高い内容だと思うのでリスクコミを実施するにあたり、リスクコミュニケーターから質問や意見があれば積極的に情報を発信していけるよう取り組んでいきたい。</p>
國富委員	<p>家畜の話があまり出なかったが、家畜の飼料に抗生物質や化学物質を混ぜて与えていると聞いたが現在はどうか。</p>
畜産課	<p>担当の班が違い、専門的な内容はわからない。</p>
神崎座長	<p>日本では、規制が厳しいがアジアでは一部使われている国もあるので、日本から現地に行き、該当の薬剤等を減らし、輸入に対する問題に取り組んでいる人がいる。</p>
國富委員	<p>少し前に輸入の牛にホルモン剤が使われていると聞いた。日本は輸入が多い国なので、それに関する情報があれば知りたい。</p>
神崎座長	<p>他に委員の方でコメントがあればお願いします。</p>
角谷委員	<p>口腔機能について。高齢者の嚙む力が弱くなっている。</p> <p>嚙む力が弱くなると誤嚥性肺炎を起こしやすくなる。「よく噛んで」と言われて丸呑みする人、少しでも噛む人、よく噛む人では半年後、丸呑みする人は7割が誤嚥性肺炎を起こしているのに対し、少しでも噛む人は、ほとんど起こさなかった。</p> <p>また、小児の嚙む回数が減ると口腔器発達不全症を引き起こす。原因はソフト食をあまり噛まずに食べるためにあごや舌をほとんど使わず食事をしているからである。</p> <p>それにより、滑舌が悪くなる、いびきをかく、無呼吸になる等の問題が生じやすい。また、歯並びが悪くなり、唾液が出なくなるので虫歯になりやすい。</p> <p>あまり噛まないから味付けが濃くなり、より唾液が出にくくなるため虫歯になりやすくなる、という事もわかっている。</p>
神崎座長	<p>重要な問題であると感じる。色んな場面で委員の方には広めていってもらいたい。小さい頃から噛んで食べることは重要であると感じている。</p>
神崎座長	<p>県の方では、今日の意見を参考に計画の策定や取組に活かしていってもらいたい。</p>
神崎座長	<p>以上で、本日の議事は終了します。</p>